

IT & YouT^

2023年5月9日

# 中期経営計画 中間レビュー

(2022年3月期～2026年3月期)

2021年5月10日 : 策定  
2022年5月 9日 : 修正  
2023年5月 9日 : 修正





2022年3月期にスタートした5か年の中期経営計画につき、今般、その中間レビューを実施するとともに目標数値の一部修正を行いましたので、ご高覧頂ければ幸いです。

本中期経営計画のこれまでの2年間においては、既存ビジネスの順調な伸展に加えて、M&Aを活用しながら、NSDグループ全体の事業基盤の拡大を図って参りました。その成果として、売上高1,000億円を突破する企業グループとなるための素地が固まりつつあります。今後、デジタル化社会への対応のため新技術・DX関連分野やソリューション分野での取り組みを一層加速させ、より付加価値の高い企業体質への変革を引き続き図って参ります。

同時に、持続可能な社会の実現に資する経営にも取り組みながら、「人とITの未来」を提案する会社”を目指します。皆様より、今後もこれまでと変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。

2023年5月9日

株式会社NSD  
代表取締役社長

今城 義和



## システム開発

- 金融や製造業を中心とする取引先のIT投資を捉え、受注が増加。
- 新技術・DX関連領域においては、特にデジタル化に関連するシステム開発事業が倍増。
- 成長に必要な人財の確保のため、採用人数の拡大、ベースアップ、社員の働き方改革の推進、地方拠点の拡充（→P4をご参照）、ビジネスパートナーとの関係深化・動員力強化を図っている。

## 新技術・DX

- 先端技術戦略事業本部を設置、その傘下に先端ソリューション企画部、DXコンサルティング推進部を新設。
- 人財育成のためのインセンティブ制度を拡充、AIやクラウド関連の資格保有者数は倍増。
- AI・IoT製品開発（位置情報ソリューション、画像解析、音声認識など）の強化や営業基盤の拡充により、事業展開のスピードアップを図る。

## ソリューション事業

- ヘルスケア関連プロダクト（CARENA、Gluketto）、同HR関連（ORDIA、JobSuite）の展開を継続。
- M&A投資により医療・ヘルスケア分野のソリューション事業が拡大する見通し。（→P5をご参照）
- 事業の“第二の柱”とすべく、引き続きM&A投資も含めた規模の拡大・加速化をテーマとして取り組んでいく。

## SDGs / ESG（環境、社会、ガバナンス）

- 代表取締役社長を委員長とするサステナビリティ推進委員会を新設。
- 同委員会が中心となり活動方針を取り纏め、サステナビリティ宣言、重要課題（マテリアリティ）、施策、KPIを策定。
- 統合報告書を策定・開示。今後も対外評価の向上に注力していく予定。  
（→P6をご参照）



## 中期経営計画における連結計数の目標（上方修正）

- 計画初年度および2年目の実績を踏まえて、3年目以降の計画数値の見直しを行うとともに、EBITDAを新たな指標として追加しました。
- 最終年度で当初の目標であった売上高1,000億円ほか各項目での達成を目指します。

(百万円)	(初年度)	(2年目)	(3年目)	(4年目)	(最終年度)	(ご参考)
	2022/3 実績	2023/3 実績	2024/3 修正計画	2025/3 計画	2026/3 計画	2026/3 前計画
売上高	71,188	77,982	97,000	103,000	110,000	100,000
新コア事業売上高 (注1)	23,537	28,411	37,500	43,000	50,000	45,000
営業利益	11,414	12,524	14,000	15,000	16,500	15,000
営業利益率 (%)	16.0	16.1	14.4	14.6	15.0	15.0
EBITDA	12,156	13,351	16,600	17,700	19,200	--
EBITDAマージン (%)	17.1	17.1	17.1	17.2	17.5	--
経常利益	11,654	12,662	14,000	15,000	16,500	15,000
当期純利益	7,823	(注2)10,219	8,700	9,500	10,500	10,200
ROE (%)	15.7	19.3	15.4	15.9	16.6	16.5

(注1) 新技術・DX関連のシステム開発事業、及びソリューション事業をいいます。

(注2) 株式売却益として2,150百万円を特別利益に計上しています。



- 成長に必要な人財の確保が重要との考えのもと、NSDでは従業員の働きがい向上や人財開発への取り組みを進めています。
- その施策のひとつとして、地方事業所の設置を行って参りました。地元志向の優秀なIT技術者の採用・確保を進め、各事業所の陣容拡大を図っていきます。

2  
0  
2  
3  
年  
3  
月  
期

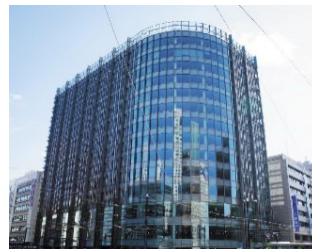
### 2022年 8月： 仙台市に最初の地方事業所を開設



※仙台事業所が入居するビル外観

名称 : 仙台事業所  
住所 : 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER (アエル) 22階  
事業内容 : システム開発事業

### 2022年 12月： 広島市に2番目の地方事業所を開設



※広島事業所が入居するビル外観

名称 : 広島事業所  
住所 : 広島市中区紙屋町1-2-22 広島トランヴェールビルディング10階  
事業内容 : システム開発事業



- ビジネスの基盤拡充のため、中計経営計画においてはM & Aへの投資（総額200億円程度）を想定しており、これまでの2年間にわたる検討の成果として、計3社をNSDグループに迎え入れることができました。
- 今後の中計経営計画の期間においても、M & Aの活用は前向きに検討していく予定です。

2  
0  
2  
3  
年  
3  
月  
期

### 2022年10月： Trigger株式会社の株式を取得して、連結子会社化

Trigger

住所： 東京都千代田区岩本町3-8-11 VORT秋葉原V 2階  
事業内容： ITコンサルティング および システム開発事業

2  
0  
2  
4  
年  
3  
月  
期

### 2023年 4月： 株式会社アートホールディングスの株式を取得して、連結子会社化

#### 5月： 株式会社ノーザの株式を取得して、連結子会社化

 株式会社  
アートホールディングス

対象会社： 持株会社である(株)アートホールディングス傘下の事業会社6社  
所在地： 福井県鯖江市(本社)・福井市、石川県金沢市 ほか  
事業内容： システム開発事業 ほか

 NHOSA  
ノーザ

住所： 東京都中野区中央1-21-4 ノーザビル  
事業内容： 歯科用レセプトコンピュータ および 透析業務支援システム の開発・販売

# 【ご参考】サステナビリティ（SDGs/ESG）の推進状況について



- サステナビリティに関しては、2022年3月30日付けで「サステナビリティ活動への取り組みについて」を公表し、活動のための態勢や方針を明確化しました。
- 現在、サステナビリティ推進委員会を中心に、長期的なビジョンで個々の取り組みを行っています。

2022年3月期

2021年 7月： 社内横断的な組織である「サステナビリティ推進委員会」を新設

2022年 3月： NSD「サステナビリティ宣言」を公表

NSDグループは、社員・お客様・株主の皆様との共存共栄という企業活動の原点に立ち、人や社会に役立つソリューションの創造・提供を通じて社会の健全な発展に積極的に貢献するため、持続可能な社会の実現が大切なものとの認識を皆で共有し、そのための社会的責任を果たしてまいります。同時に、自らの持続的な成長にも努め、その基盤となるESGに関する取り組みを全員一丸となって進めてまいります。

： 同時に、「重要課題（マテリアリティ）」、「施策」、「KPI（指標・目標）」を公表

4月： ビジネスパートナー企業に向けた「サステナビリティ調達ガイドライン」を制定

2023年 2月： 「統合報告書」を開示

： ISO14001（環境マネジメントシステム）認証を取得

4月： 「マルチステークホルダー方針」を公表

2023年3月期

